

# 事業概要シート

施策： 環境汚染対策の推進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 野良猫対策事業	現状維持	予算額	1,136 千円
		《 》	1,429 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円	
	県支出金	0 千円	
	地方債	0 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	1,136 千円	

## 【事業の目的・概要・対象】

【目的】野良猫の繁殖を抑制することにより、野良猫による糞尿等の被害を軽減させ、殺処分の数を減少させることを目的とする。

【概要】野良猫の繁殖を抑制する手段として、市内の指定動物病院で野良猫の不妊・去勢手術を受けさせようとする者の負担を軽減するために、野良猫の不妊・去勢手術費用を助成する。

### (1) 不妊・去勢手術費用の全額助成

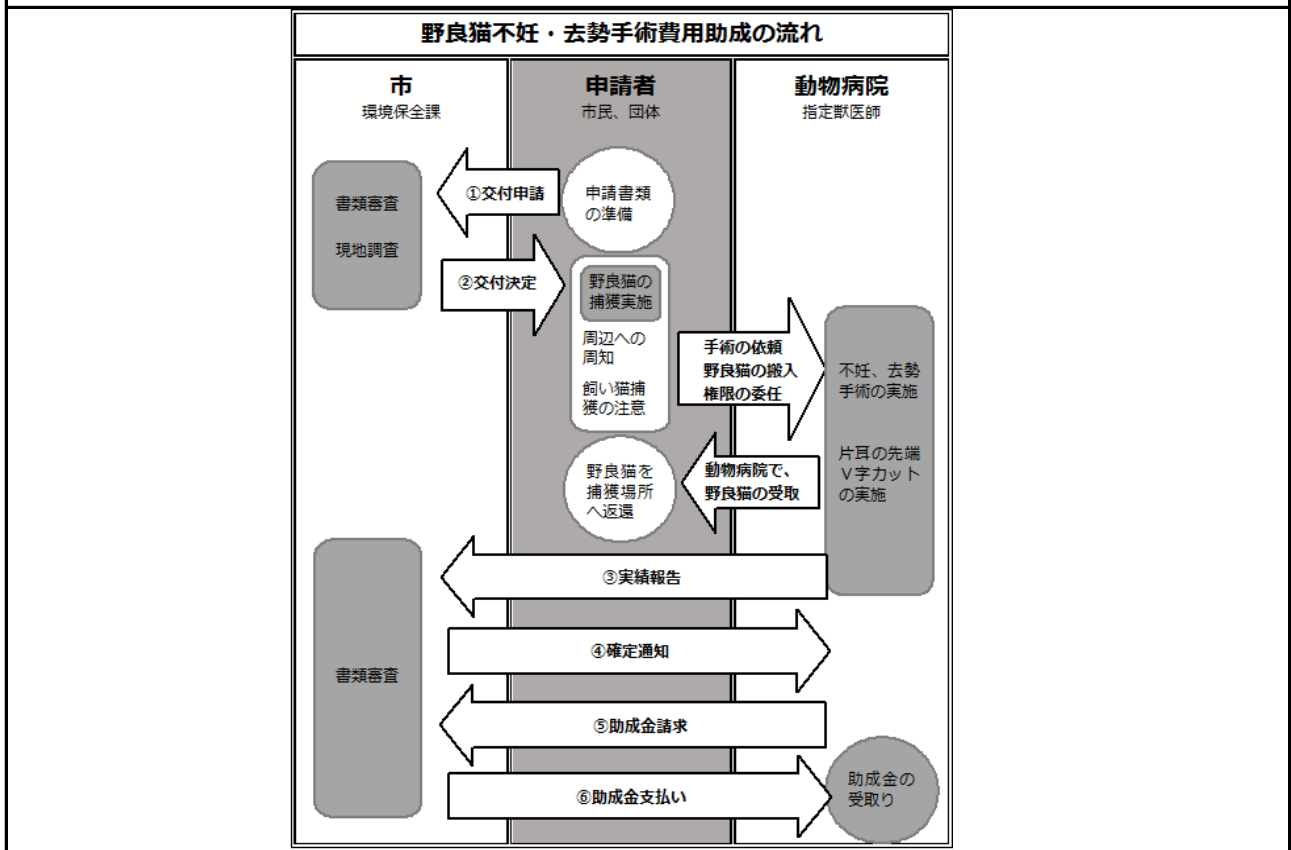
本事業を実施するにあたり、長崎県獣医師会大村支部と不妊手術18,000円、去勢手術8,000円の協定を結んでおり、手術費用の全額を市が助成する。

また、助成金については獣医師への委任払いとし、申請者の一時的な金銭負担を解消する。

### (2) 野良猫の捕獲・運搬の支援

助成内容は手術費用の助成であり、野良猫の捕獲や運搬は申請者が行うため、捕獲器・運搬用キャリーケージの貸出し、及び飼い猫の誤捕獲予防のための捕獲前・捕獲時の周知用看板の貸出し、チラシの作成等で申請者を支援する。

【対象】市内に住所を有する者又は市内に事務所を有する団体であって、手術に関し国、他の地方公共団体その他の団体から他の補助金の交付を受けていないもの。



## 【背景】

野良猫がみだりに繁殖し、市内のいたるところで、糞尿などの被害や敷地内での子猫の出産による、環境の悪化が問題となっているが、猫を取り締まる法令は無く、苦情対応に苦慮している。

また、保健所による猫の引取り数においても、本市は県央保健所管内の市町の中でその数が突出しており、市長がマニフェストに掲げている「動物の殺処分ゼロを目指す」という目標のためにも、猫に対する何らかの施策が必要である。

担当課	市民環境部環境保全課	問合せ先	0957-53-4111（内線149）
-----	------------	------	---------------------

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	不妊・去勢手術施術頭数	目標値 頭	/	60	60	60	/
②							

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	猫の繁殖抑制頭数	目標値 頭	/	4,680	4,680	4,680	/
②		目標値					

## 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費			/	1,429	1,136	1,164	3,729
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				1,429	1,136	1,164	3,729
人件費				6,018	6,018	6,018	18,054
職員				0.80人	0.80人	0.80人	2.40人
時間外勤務				100h	100h	100h	300h
嘱託員				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	0	0	0	7,447	7,154	7,182	21,783

妥当性 (市の関与)	<p>本事業の実施により、直ちに野良猫の数は減少しないが、繁殖を確実に抑制できるため、継続することにより数も減少していくと推測される。繁殖の抑制と数の減少に伴い、猫の殺処分数や野良猫による被害も減少していくと考えられるため、本事業を活用し野良猫に不妊・去勢手術を受けさせることは、動物愛護の推進並びに市民全体の生活環境の改善に繋がるため、市が関与することは妥当である。</p> <p>また、以上の事から申請者に負担金を強いることは馴染まない。</p>
有効性 (施策貢献度)	<p>野良猫の全体数の把握は不可能であるため、数の減少の確認は困難であるが、事業実施により理論上、年間約4,600頭（1頭からの年間繁殖数78頭×施術頭数60頭）の繁殖の抑制が見込める。</p>
効率性 (コスト)	<p>助成の内容は、手術費用の全額助成のみであり、野良猫の捕獲、運搬及び手術日程の調整等は申請者自ら行うことや、長崎県獣医師会大村支部と手術費用について協定を結ぶことにより、必要最低限の費用に抑えている。</p>

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり